

調査要項

1. 調査の名称

「健康相談・健康相談活動の研修経験が養護教諭の実践に及ぼす影響」に関する調査

2. 調査の目的

2005年2月26日に創立した日本健康相談活動学会は、まもなく20周年を迎えます。本学会設立前に本学会の前身である「文部科学省委嘱事業：健康相談活動カリキュラム検討委員会」は、2002年に健康相談活動の基本的な考え方や進め方の理解を得る手段として「研修」に焦点をあて、健康相談活動に関する研修経験の有無、経験した研修内容と研修内容が実践に及ぼす影響を明らかにすることを目的に調査を実施しました。その結果、

①2002年以前に経験した健康相談活動に関する研修内容は、養護教諭の実践に影響するとは言い切れない

②指導主事自身の研修経験が現職研修に影響を及ぼす可能性がある

③研修経験以外の要因も養護教諭の実践に影響していると考えられる

④健康相談活動の実施のための保健室の環境整備がまだ不十分である

ことが示唆されました。

それから20年の時を経て、これらの結果がどのように変化したのかを検証するため、20年前と同様の項目で調査を実施し比較検討することで、健康相談についての現状と課題、展望を検討したいと考えております。

3. 調査対象

(1) 現職養護教諭

(2) 養護教諭養成教育担当者

(3) 各自治体で養護教諭を担当されている指導主事

(4) その他（養護教諭養成等に係る関係者）

4. 調査内容

「健康相談・健康相談活動の研修経験が養護教諭の実践に及ぼす影響」に関する調査

5. 調査方法

以下の URL 又は、QR コードにアクセスし、回答を入力・送信してください。

回答に要する時間は約 15 分です。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd9uv5sE282Ql1XgESKdDHkuOrKQzMEEaZEzzd1f4bm_5-9Hg/viewform



6. 調査期間 令和 5 年 3 月 31 日まで

7. 倫理的配慮

・本調査は、個人研究ではなく、養護教諭の学び、特に健康相談活動の実践力を高める学修の場や内容について検討していくための参考資料として活用され、子供たちの自己実現をなお一層支援していくことを期待して実施する調査です。

・調査票には、本調査の目的、データを研究目的以外で使用することはないこと、個人を特定する情報が公になることはないこと、本調査への参加の拒否による不利益はないこと、気分が悪くなったときなどは回答を中断、もしくは中止できること、研究に関する問い合わせ先について記載しました。データは、個人が特定されないように統計的に処理を行い、機密性が保たれた場所に保存し、研究終了 10 年経過後にはデータ消去します。

・調査実施時に文書によって示し、同意するか否かをチェックする欄を設け、同意するにチェックした回答者のみが質問に回答できるように調査票を設定しました。

・本調査は、日本健康相談活動学会倫理綱領に則り実施することを条件に、同学会理事会において倫理的な配慮を含めた実施の検討及び承認を得たものです。

8. 本件に対する問い合わせ先

日本健康相談活動学会事務局 (kenko-soudankatsudo@jahca.org)